

令和7年度(2025年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	武雄市立橋小学校	児童数 121人
-----	----------	----------

I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	いろんな本をたくさん読んで本となかよしになろう！
宣言	取組期間	令和7年(2025年)4月14日～令和7年(2025年)11月28日

※令和7年(2025年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和7年(2025年)11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

評価	取組人数 実施日数 読書冊数 連携した団体数	121人 231日 19639冊 2団体
取組内容（概要）	① いろんな本に興味をもち、読書の幅を広げる取組を行う。 ② 読書への意欲を高める取組を行う。 ③ 関係各所との連携を図る。	
工夫したこと	① <u>いろんな本に興味をもち、読書の幅を広げる取組を行う。</u> 1. 「おすすめの本の紹介」 ・教師のおすすめの本や新書を紹介し、多様な本に出会わせるように仕組んだ。 紹介の方法としては、年度当初に図書事務担当が全職員への依頼し、おすすめの本を取りまとめ、図書館のモニターを使用し、スライドショーで流すようにした。年度途中では、新書紹介についても同様にスライドショーを利用した。児童の興味がわき、読んでみたくなるような演出となった。 2. 「教科書のおすすめの本一覧表の配布」 ・各学年の教科書に掲載されている「おすすめの本」の一覧表（色画用紙に印刷）を年度当初に児童に配布し、借りたらシールを貼る取組を行った。 ② <u>読書への意欲を高める取組を行う。</u> 1. 「年2回のブックフェス」 ・全校児童が図書館や本に興味をもち、読書に積極的に意欲的に親しめるように、年に2回（6月、11月）イベントを開催した。図書委員会を中心とした活動で全校児童が図書室に足を運び、本を借りたり読書をしたりするきっかけをつくるようにした。 【イベントの内容】 ●ブックスタンプラリー ・スタンプカードを配布し、本を借りたら委員会児童がスタンプを押す。ラリー終了後、毎日スタンプをもらった人に、がんばり賞として、プラス1冊貸し出し券を渡した。 ●しおりづくり ・材料を図書室に取りに行き、各学級で作ってもらった。しおりが、できたら、図書室に提出し、しおりは後日ラミネートをして、返却し活用してもらつた。 ●図書委員による読み聞かせ ・図書委員の担当で読み聞かせをし、来てくれた人にプラス1冊貸し出し券を渡した。 ●図書館クイズ ・図書室にある本にまつわるクイズを低・中・高の学年別に出題し、紙に答えを書いてもらい回収した。正解者にはプラス貸し出し券2枚、出してもらった人には1枚を贈呈した。 ●みんなでパズル ・パズルカードを配布し、期間中に図書を借りたらパズルに貼ってもらった。パズルが完成したクラスに、がんばり賞として、プラス1冊貸し出し券を渡すようにした。	

	<p>●好きな本アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな本アンケートの用紙を図書委員が配布し、好きな本ベスト5を決めて掲示板で発表するようにした。 <p>2. 「貸出150冊（下学年）100冊（上學年）、達成賞状の発行」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数を目標にして、できるだけたくさんの本を借りに図書室へ足を運ぶように意欲付けを行った。 <p>③ 関係各所との連携を図る。</p> <p>1. 「地域ボランティア『お話会たちはなかっぱ隊』による読み聞かせ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアと学校が連携し、年間を通して実施している。かっぱ隊のみなさんが1名ずつ全学級を担当して、朝の時間に読み聞かせを行っている。平成16年度から継続して行っており、月に1回程度、年間を通して計画的に行っている。 <p>2. 「武雄市図書館との連携」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武雄市図書館からの利用促進・イベント等のお知らせについて学校図書館を通して児童へ周知している。また、毎年、小学1年生対象に武雄市図書館の貸し出しカードを作成する案内が配布され、多くの児童が作成をし、活用している。 ・学校図書館の蔵書で十分でない場合、行事や学習で必要な本を担当でまとめて借り、活用することができた。
取り組んだ感想	<p>① いろんな本に興味をもち、読書の幅を広げる取組を行う。</p> <p>1 「おすすめの本の紹介」では、教師のおすすめということで、興味を持って借りたり、本の内容に関する会話が生まれ、よりよいコミュニケーションにつながったりと読書機会が増加し読書の幅が広がった。スライドショーで紹介することで、展示できない本を紹介することができ、児童が本と出会う場が増えた。新書については、他の人が借りていたとしても本の情報を知ることができるので借りて読んでみたいという思いをつなげることができた。</p> <p>2 「教科書のおすすめの本一覧表の配布」では、できるだけシールを増やしたい気持ちも働き、いつの間にかいろいろな本を借りて読むことにつながり、読書の幅を広げることができた。</p> <p>② 読書への意欲を高める取組を行う。</p> <p>・ブックフェスを実施することによって、全校児童が本や読書に接する機会が増え、いつもは読まないジャンルの本も借りて読むことにつながっていた。また、貸出券の贈呈により図書館クイズへの参加者が増加したことで図書館への来館が増えた。</p> <p>6月、11月の平均貸出数は、どの学年も増加傾向で、ブックフェスによる読書への関心を高めることができた。また、貸出数が増加する6月・11月の同月を年度で比較すると、令和6年度6月が21.9冊に対し、令和7年度6月は31.2冊であった。ただ、令和6年度11月は27.6冊に対し、令和7年度は、20.4冊と減少していたが、11月は、学校行事等の関係でブックフェスの期間が短かったためとも考えられる。年度全体で見てみると、4月から11月までの1人平均貸出冊数は、令和6年度が150.4冊、令和7年度が164冊で10冊以上も増加していた。その年度ごとの工夫を凝らしたブックフェスによる取組の効果が貸出数増加につながっていると考えられる。</p> <p>③ 関係各所との連携を図る。</p> <p>・児童は、読み聞かせを中心としており、読んだことのない本と出会うよさや読書の楽しさを感じることができた。また、ボランティアのみなさんの語り口による話に没入し、心穏やかな時間を過ごすことができた。武雄市図書館との連携においても、学校図書館の蔵書を補完することで、読書の幅を広げることができた。</p> <p>主に上記3つの取組を実施することで、学校全体としては、「いろんな本をたくさん読んで本となかよしになろう！」の目標を達成できたと思う。</p>
今後の取組予定 (令和7年(2025年)12月～令和8年(2026年)3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月は、人権週間が実施されるため、各教室横の廊下にブックトラックを設置し、人権に関わる本を自由に読んでもらうコーナーを設置する予定である。 ・今年度中に、できるだけ多くの児童が目標貸出冊数の150冊（下学年）100冊（上學年）を達成できるように図書室の運営、各学級での読書奨励を行っていく。

武雄市立橋小学校 「スクール読書チャレンジ」資料

① いろんな本に興味をもち、読書の幅を広げる取組

「教師のおすすめの本の紹介」

「新書紹介」

モニターにスライドショーで写します。子どもたちは、立ち止まって見てています。



「教科書のおすすめの本の一覧表」借りたらシールを貼ります。シールが増えるのを楽しみにしています。

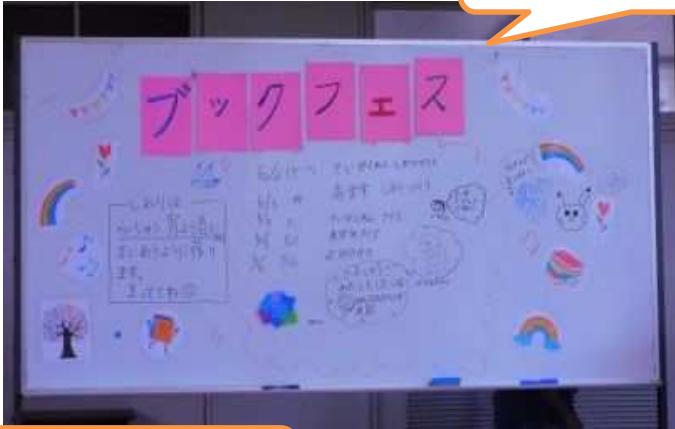


② 読書への意欲を高める取組

「ブックフェス」6月、11月

図書委員が作成した看板

しおりづくりお知らせ

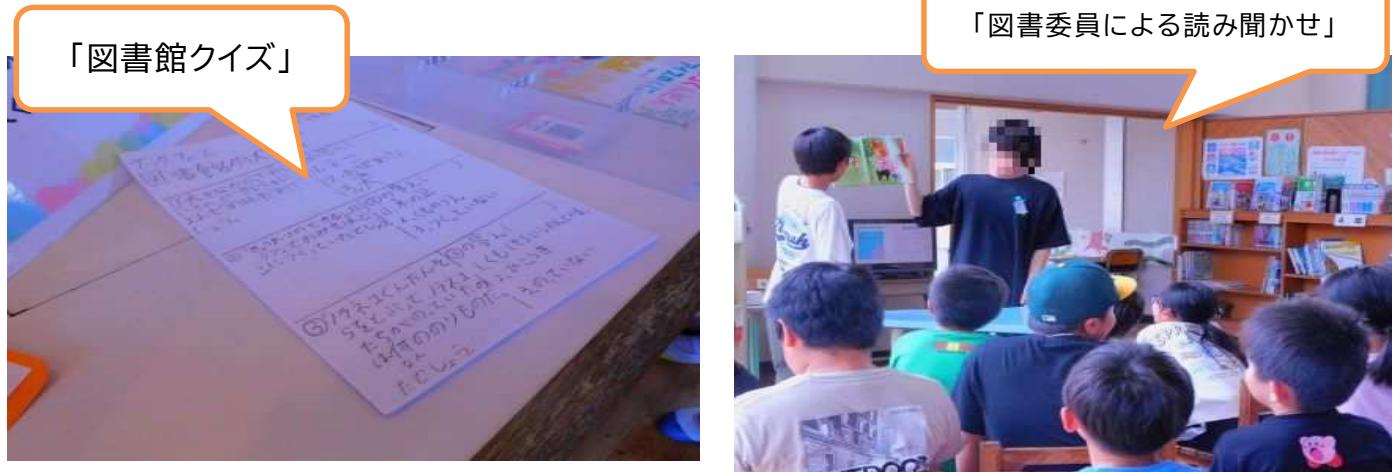


「しおりづくり」



完成したしおり

休み時間には、図書室にたくさんの子どもたちが集まり、イベントを楽しむ様子が見られました。



150 冊(下学年)
100 冊(上學年)
達成者には賞状を贈呈します。
子どもたちにとって
一つの目標となっています



① 関係各所との連携

「地域ボランティア『お話会たちはなかっぱ隊』による読み聞かせ」



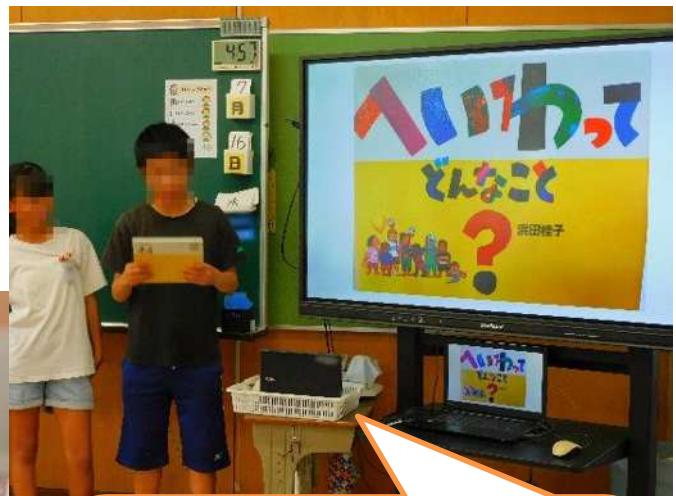
お話を世界にひたってすてきな時間が流れます。



昔ながらの紙芝居も楽しんでいます。

「武雄市図書館との連携」

7月の平和学習週間には、武雄市図書館から担当が借りてきた本をブックトラックに並べ、教室横に設置し、手に取って読めるようにしました。



7月の平和学習週間に行った平和集会で、武雄市図書館から借りてきた本の中から6年生が選書し、5年以下の各学級で読み聞かせを行いました。